

様式2の1

林業・木材産業成長産業化促進対策  
事業構想

平成30年4月11日

## 1 地域の概要

広島県の森林面積は、約61万ha(国有林含む)で県土面積の約72%を占めている。民有林面積における樹種別の構成割合は、スギが85%、ヒノキが17.3%、マツが34.6%となっており、蓄積量(9,924ha)における樹種別の構成割合は、スギが17.6%、ヒノキが23.4%、マツが35.3%となっている。スギ・ヒノキの人工林面積は、14.5万haで、そのうち6齢級から12齢級の間伐等の手入れが必要な森林が約77%を占めており、適正な森林を管理していくためには、今後も間伐等の森林整備を推進していく必要がある。広島県では県内人工林の傾斜、路網密度、資源の状況等精度の高い情報が把握できていないことから、林業経営に適した事業地の特定ができていない状況にあり、また本県の森林は1~5haの小規模な森林の所有者が約3/4を占めていることなどから、施業同意の取得の事務が煩雑で、事業地の集約から困難な状況にある。そのため、小規模な事業地それぞれで生産体制を構築していることから、生産性が低下するだけでなく、流通も非効率となるなど、林業の利益率が改善できない要因となっており、また、路網等の生産基盤が整っていないことも、生産の効率化の支障となっている。また、経営サイクルにおける所有者の利益確保が難しくなっていることから、所有者の再造林への投資意欲が高まらず、主伐後の再造林が進みにくい状況にあり、計画的な主伐・再造林が行われていないことから、再造林に必要な苗木や担い手の確保が進んでいない。

## 2 林業・木材産業の成長産業化に向けた方針

県内に存する民有林のスギ・ヒノキ人工林14万haの資源が産業として活用されるためには、「品質」と「価格競争力」の2つの要素が必要と考えており、「品質」については、県内の大手製材工場などの木材加工能力を活用し、外材等の製品に対抗できる製品に加工することにより資源化することとしている。また、「価格競争力」が外材等と比較して弱く、生産性を向上させることにより競争力を高める必要があることから、県産材の安定的な供給体制を確保するために、①森林資源経営サイクル(植栽→保育→間伐→主伐までの一連の循環)を継続していくための取組②森林資源利用フロー(生産→流通→加工→販売)からの利益が経営サイクルに組み込まれ、森林所有者へ利益が還元されるための取組を進めることし、この取組を通じ林業の利益率を高め、産業として自立できる林業経営の確立を目指すことにより、林業の成長産業化を図ることとしている。

## 3 林業経営体の育成方針

将来的には県産材生産量を32万m<sup>3</sup>(H28)から40万m<sup>3</sup>(H32)に増大させ、将来にわたって、毎年40万m<sup>3</sup>が生産できる体制整備に取り組むこととしている。このため、意欲と能力のある林業事業体が、集積・集約化された事業地を確保し、計画的に林業経営を行えるための取り組むとともに、併せて植栽・保育・間伐・主伐の各段階での効率的な木材生産が可能となるような取り組み、効率的かつ安定的な木材生産体制の構築を図る。

## 4 林野庁長官が別に定めるところにより都道府県知事が選定した林業経営体

※ 都道府県知事が選定した林業経営体の一覧を添付する。

## 5 間伐及び主伐・再造林の取組方針

県産材生産量を32万m<sup>3</sup>(H28)から40万m<sup>3</sup>(H32)に増大させ、将来にわたって毎年40万m<sup>3</sup>が生産できる体制整備に取り組むこととしている。林業経営適地を集積・集約化し、路網の整備、高性能林業機械の導入することにより、主伐期を向かえる森林及び間伐適齢期を向かえる森林について、効率的な施業に取り組むとともに、伐採から植栽までを一連で行う作業システムの導入等により、再造林コストの縮減を図り、継続的な林業経営が可能となるよう、主伐・再造林・保育・間伐までの各段階について資源循環利用に取り組む。

## 6 路網整備に係る生産基盤強化区域

※ 林野庁長官が別に定めるところにより都道府県知事が設定した生産基盤強化区域を記載し、その位置図を添付する。

## 7 木材加工・流通の合理化等に関する取組方針

中間土場の整備や流通コーディネーターの設置により、林業経営者から製材工場等への直送等による原木供給体制の構築に一定の成果があったものの、工場への年間を通じた安定した木材供給や、更なる流通コストの縮減が課題となっている。このため、流通コーディネーター機能の更なる強化により、安定的な出荷量の確保を図るとともに、中間土場を整備・活用し、共同出荷による流通コストの縮減に取り組む。

## 8 林業と木材産業の連携に関する方針

川下側である工場等が必要とする量・規格・時期等の需要者ニーズを把握し、川上～川中側が協定等に基づく木材生産・調達・供給を図ることにより、木材生産コストの削減、流通コストの削減、工場の加工能力を生かした加工コストの削減等により、関係者の利益率の向上を図る。

## 9 事業実施期間

平成30年度～平成34年度

## 10 目標を定量化する指標

＜木材供給量の目標＞ (単位:千m <sup>3</sup> )		
	平成30年(度) (実績)	平成35年(度) (目標)
県産材素材生 産目標	269	335

※ 国産材の供給量について、直近年(度)の実績及び事業実施期間の終期等の目標を記載する。

## 選定林業経営体一覧

整理番号	林業事業体名	住 所
1	尾三地方森林組合	尾道市御調町公文208-1
2	備北森林組合	庄原市中本町1丁目20-14
3	東城町森林組合	庄原市東城町受原201-1
4	太田川森林組合	山県郡安芸太田町大字上殿261
5	西城町森林組合	庄原市西城町中野1312
6	世羅郡森林組合	世羅郡世羅町西上原137-1
7	神石郡森林組合	神石郡神石高原町安田175-1
8	三次地方森林組合	三次市東酒屋町1180-2
9	黒瀬町森林組合	東広島市黒瀬町丸山1445
10	甲奴郡森林組合	府中市上下町上下2809-1
11	広島県東部森林組合	福山市御幸町中津原字廿軒屋1690-1
12	広島県森林組合連合会	広島市中区鉄砲町4番1号
13	賀茂地方森林組合	東広島市高屋町稻木2010-5
14	広島市森林組合	広島市安佐北区亀山南3丁目16-28
15	佐伯森林組合	廿日市市津田4266番地1
16	安芸北森林組合	安芸高田市吉田町吉田2124-2
17	(有) 安田林業	廿日市市宮園2丁目7-6
18	(同) フロムフォレスト	広島市西区観音本町1丁目14番24号
19	(株) 守岡林産	三次市作木町光守143
20	中本造林 (株)	廿日市市栗栖508

林業第900号  
平成30年2月27日

林野庁長官様

広島県知事



生産基盤強化区域の設定について

路網整備に係る生産基盤強化区域の設定について（平成30年2月1日付け29林整整第71号林野庁長官通知）の第3の規定に基づき、生産基盤強化区域を次のとおり設定しましたので報告します。

1. 生産基盤強化区域名	1. 神石生産基盤強化区域ほか30
2. 区域の所在市町村名	神石高原町
3. 区域面積	7, 559ha
4. 区域内の人工林率	41%
5. 区域内の人工林の蓄積量のうち 標準伐期齢以上の蓄積量の割合	84% 区域内の人工林の蓄積量 992, 683m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 832, 423m <sup>3</sup>
6. 主な木材の供給先	山崎木材 株式会社 ひろしま木材事業協同組合
7. 位置図	別紙のとおり

## 別記様式5

## 生産基盤強化区域

広島県

番号	生産基盤強化区域名	区域の所在市町村名	区域面積	区域の人工林率	区域内の人工林の蓄積のうち標準伐期齢以上の蓄積量の割合	主な木材の供給先	備考
2	三和生産基盤強化区域	神石高原町	8,517ha	25%	79% 区域内の人工林の蓄積量 467,480m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 370,497m <sup>3</sup>	山崎木材 株式会社 ひろしま木材事業協同組合	平成30年2月27日設定
3	油木生産基盤強化区域	神石高原町	6,988ha	29%	84% 区域内の人工林の蓄積量 479,686m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 400,684m <sup>3</sup>	山崎木材 株式会社 ひろしま木材事業協同組合	平成30年2月27日設定
4	上下生産基盤強化区域	府中市	5,901ha	27%	75% 区域内の人工林の蓄積量 338,236m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 254,666m <sup>3</sup>	広島県森連三次共販所 ひろしま木材事業協同組合	平成30年2月27日設定
5	安佐生産基盤強化区域	広島市	7,975ha	51%	91% 区域内の人工林の蓄積量 1,026,564m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 936,345m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 中本造林 株式会社 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
6	可部生産基盤強化区域	広島市	6,017ha	32%	85% 区域内の人工林の蓄積量 470,090m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 397,548m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 中本造林 株式会社 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
7	湯来生産基盤強化区域	広島市	13,429ha	54%	92% 区域内の人工林の蓄積量 2,536,336m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 2,336,533m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県林産中市協同組合 中本造林 株式会社	平成30年2月27日設定
8	阿戸生産基盤強化区域	広島市	1,505ha	28%	80% 区域内の人工林の蓄積量 65,287m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 52,156m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 中本造林 株式会社 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
9	佐伯生産基盤強化区域	廿日市市	15,914ha	47%	93% 区域内の人工林の蓄積量 2,367,194m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 2,200,856m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県林産中市協同組合 中本造林 株式会社	平成30年2月27日設定
10	吉和生産基盤強化区域	廿日市市	10,325ha	43%	85% 区域内の人工林の蓄積量 1,486,561m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 1,258,134m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県林産中市協同組合 中本造林 株式会社	平成30年2月27日設定

11	加計生産基盤強化区域	安芸太田町	7,760ha	51%	92% 区域内の人工林の蓄積量 1,387,684m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 1,279,822m <sup>3</sup>	広島県林産中市協同組合 益田原木	平成30年2月27日設定
12	戸河内生産基盤強化区域	安芸太田町	15,544ha	42%	90% 区域内の人工林の蓄積量 2,189,757m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 1,977,755m <sup>3</sup>	広島県林産中市協同組合 益田原木	平成30年2月27日設定
13	筒賀生産基盤強化区域	安芸太田町	4,802ha	68%	90% 区域内の人工林の蓄積量 1,102,411m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 995,490m <sup>3</sup>	広島県林産中市協同組合 益田原木	平成30年2月27日設定
14	芸北生産基盤強化区域	北広島町	21,895ha	40%	70% 区域内の人工林の蓄積量 2,462,229m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 1,726,453m <sup>3</sup>	広島県林産中市協同組合 益田原木	平成30年2月27日設定
15	千代田生産基盤強化区域	北広島町	13,225ha	29%	79% 区域内の人工林の蓄積量 1,071,304m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 843,022m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県林産中市協同組合 広島県森連三次共販所	平成30年2月27日設定
16	大朝生産基盤強化区域	北広島町	7,361ha	45%	79% 区域内の人工林の蓄積量 933,856m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 739,026m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県林産中市協同組合 広島県森連三次共販所	平成30年2月27日設定
17	豊平生産基盤強化区域	北広島町	9,830ha	39%	76% 区域内の人工林の蓄積量 1,132,488m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 863,281m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県林産中市協同組合 広島県森連三次共販所	平成30年2月27日設定
18	八千代生産基盤強化区域	安芸高田市	3,837ha	36%	62% 区域内の人工林の蓄積量 280,095m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 172,379m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県林産中市協同組合 広島県森連三次共販所	平成30年2月27日設定
19	高宮生産基盤強化区域	安芸高田市	8,746ha	20%	74% 区域内の人工林の蓄積量 371,894m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 274,781m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県林産中市協同組合 広島県森連三次共販所	平成30年2月27日設定
20	三次生産基盤強化区域	三次市	16,172ha	21%	71% 区域内の人工林の蓄積量 690,630m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 487,131m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県林産中市協同組合 広島県森連三次共販所	平成30年2月27日設定
21	君田生産基盤強化区域	三次市	5,824ha	47%	78% 区域内の人工林の蓄積量 836,349m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 651,311m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県森連三次共販所 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
22	甲奴生産基盤強化区域	三次市	4,892ha	26%	70% 区域内の人工林の蓄積量 255,004m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 177,609m <sup>3</sup>	広島県森連三次共販所 ひろしま木材事業協同組合	平成30年2月27日設定

23	作木生産基盤強化区域	三次市	7,624ha	41%	79% 区域内の人工林の蓄積量 911,319m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 716,673m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県森連三次共販所 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
24	布野生産基盤強化区域	三次市	7,083ha	54%	79% 区域内の人工林の蓄積量 1,133,745m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 892,765m <sup>3</sup>	ひろしま木材事業協同組合 広島県森連三次共販所 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
25	庄原生産基盤強化区域	庄原市	17,003ha	30%	74% 区域内の人工林の蓄積量 954,803m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 701,877m <sup>3</sup>	山崎木材 株式会社 広島県森連三次共販所 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
26	口和生産基盤強化区域	庄原市	8,923ha	47%	73% 区域内の人工林の蓄積量 1,165,417m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 851,862m <sup>3</sup>	山崎木材 株式会社 広島県森連三次共販所 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
27	高野生産基盤強化区域	庄原市	11,130ha	34%	76% 区域内の人工林の蓄積量 1,147,204m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 875,515m <sup>3</sup>	山崎木材 株式会社 広島県森連三次共販所 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
28	西城生産基盤強化区域	庄原市	19,481ha	57%	85% 区域内の人工林の蓄積量 3,584,801m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 3,036,084m <sup>3</sup>	山崎木材 株式会社 尾原木材 株式会社 立川林産 株式会社	平成30年2月27日設定
29	総領生産基盤強化区域	庄原市	5,339ha	53%	88% 区域内の人工林の蓄積量 930,382m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 822,886m <sup>3</sup>	広島県森連三次共販所 ひろしま木材事業協同組合	平成30年2月27日設定
30	東城生産基盤強化区域	庄原市	25,043ha	46%	84% 区域内の人工林の蓄積量 3,651,195m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 3,048,895m <sup>3</sup>	山崎木材 株式会社 新見木材市場	平成30年2月27日設定
31	比和生産基盤強化区域	庄原市	11,041ha	46%	83% 区域内の人工林の蓄積量 1,536,013m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 1,280,006m <sup>3</sup>	山崎木材 株式会社 広島県森連三次共販所 尾原木材 株式会社	平成30年2月27日設定
計	30箇所	9市町	309,126ha	41%	83% 区域内の人工林の蓄積量 36,966,014m <sup>3</sup> うち標準伐期齢以上の蓄積量 30,622,042m <sup>3</sup>		

〔作成要領〕

1 設定した生産基盤強化区域について、都道府県ごとに本表にとりまとめる。

## 広島県生産基盤強化 位置図

